

令和 2 年度
生活インフラサービスへのアクセス状況実態調査
委託事業

報告書

令和 3 年 3 月

三菱UFJリサーチ&コンサルティング

目 次

1. はじめに	1
2. 調査地の選定	2
2.1. 概要	2
2.2. 全国旧市区町村別の生活インフラサービス数の集計.....	2
2.2.1. 候補地選定の考え方	2
2.2.2. 調査対象地の決定	3
3. アンケートの実施	6
3.1. 調査先と日程.....	6
3.2. アンケート票の作成.....	7
3.3. アンケートの進め方.....	8
3.4. アンケート回収結果.....	9
4. アンケート集計結果	10
4.1. 集計に際しての留意点	10
4.2. 食品・日用品小売サービス.....	10
4.2.1. 回答者の年代	10
4.2.2. 回答者の性別	13
4.2.3. 来場の方法.....	15
4.2.4. 所要時間	18
4.2.5. JA への加入状況	21
4.2.6. 利用頻度	24
4.2.7. JA 施設の利用意向	27
4.2.8. 今後も利用したい理由	33
4.2.9. JA 施設以外の利用	37
4.2.10. 農協施設と農協以外の施設の利用状況.....	44
4.2.11. 他のスーパーマーケットを利用する理由	45
4.2.12. 農協以外の施設の利用可能性	46
4.3. 金融サービス.....	48
4.3.1. 回答者の年代.....	48

4.3.2. 回答者の性別	50
4.3.3. 来場の方法.....	52
4.3.4. 所要時間	55
4.3.5. JA への加入状況	57
4.3.6. 利用頻度	60
4.3.7. JA 施設の利用意向	63
4.3.8. 今後も利用したい理由	66
4.3.9. JA 施設以外の利用	70
4.3.10. 農協施設と農協以外の施設の利用状況.....	78
4.3.11. 他の金融機関を利用する理由	79
4.3.12. 農協以外の施設の利用可能性	80
4.4. ガソリン小売サービス	82
4.4.1. 回答者の年代.....	82
4.4.2. 回答者の性別	84
4.4.3. 来場の方法.....	86
4.4.4. 所要時間	88
4.4.5. JA への加入状況	90
4.4.6. 利用頻度	92
4.4.7. JA 施設の利用意向	95
4.4.8. 今後も利用したい理由	98
4.4.9. JA 施設以外の利用	102
4.4.10. 農協施設と農協以外の施設の利用状況.....	109
4.4.11. 他のガソリンスタンドを利用する理由.....	110
4.4.12. 農協以外の施設の利用可能性	111
5. 令和元年、令和2年度の集計結果.....	113
5.1. 回収状況.....	113
5.2. 食品・日用品小売サービス.....	115
5.2.1. 回答者の年代.....	115
5.2.2. 回答者の性別	117
5.2.3. 来場の方法.....	119
5.2.4. 所要時間	121
5.2.5. JA への加入状況	123
5.2.6. 利用頻度	126

5.2.7. JA 施設の利用意向	129
5.2.8. 今後も利用したい理由	136
5.2.9. JA 施設以外の利用可能性.....	140
5.3. 金融サービス.....	148
5.3.1. 回答者の年代.....	148
5.3.2. 回答者の性別.....	150
5.3.3. 来場の方法.....	152
5.3.4. 所要時間.....	154
5.3.5. JA への加入状況	156
5.3.6. 利用頻度	159
5.3.7. JA 施設の利用意向	162
5.3.8. 今後も利用したい理由	166
5.3.9. JA 施設以外の利用可能性.....	169
5.4. ガソリン小売サービス	177
5.4.1. 回答者の年代.....	177
5.4.2. 回答者の性別.....	179
5.4.3. 来場の方法.....	180
5.4.4. 所要時間.....	182
5.4.5. JA への加入状況	184
5.4.6. 利用頻度	186
5.4.7. JA 施設の利用意向	190
5.4.8. 今後も利用したい理由	194
5.4.9. JA 施設以外の利用可能性.....	197
6. まとめ.....	205

1. はじめに

農業協同組合法等の一部を改正する等の法律（平成 27 年 9 月 4 日公布）において、政府は、准組合員の組合の事業の利用に関する規制の在り方について、施行日から 5 年を経過する日までの間、正組合員及び准組合員の組合の事業の利用の状況等についての調査を行い、検討を加えて、結論を得ることとされている。

本事業は、この調査の 5 年目として、生活インフラサービスへのアクセス状況の実態について、現地調査（事例調査）により明らかにすることを目的とする。調査の対象としては、農業協同組合が行う、食料品・日用品小売サービス、金融サービス、ガソリン小売サービスである。本年度事業では、これら 3 サービスを同地域に有する 12 カ所についてアンケート調査を実施し、各インフラサービスへのアクセスの状況等について明らかにした。

2. 調査地の選定

2.1. 概要

本章では、生活インフラサービスの店舗における現地アンケート調査の調査地の選定方法について記載する。

2.2. 全国旧市区町村別の生活インフラサービス数の集計

2.2.1. 候補地選定の考え方

調査対象地域は、地域的に偏りがないよう考慮し、東日本、西日本でそれぞれ、都市的地域、平地農業地域は1地域ずつ、中間農業地域、山間農業地域は2地域ずつ選定を行った。

昨年度事業では、「食料品・日用品小売サービス」、「金融サービス」、「ガソリン小売サービス」の各施設が同一の旧市区町村内に存在している地域を選定して、調査を実施した。本年度も基本的には同じ方針を採るが、一方で、中山間地域等においてこれらの施設が1カ所に集約されているのは当該地域における中心的な地区（中心地区と呼ぶ）であることが想像できる。そこで、本年度事業では「同一市町村内に3種類の拠点は存在するものの、小学校区内には3種類揃っていない地区」（非中心地区と呼ぶ）を含む市町村についても、中間農業地域、山間農業地域でそれぞれ2市町村ずつ（東日本と西日本で各1市町村）選定した。

具体的には、全国市区町村の「金融サービス」「食料品・日用品小売サービス」「ガソリン小売サービス」の住所情報を用いて、GIS上にマッピングを行い、旧市区町村の境界情報と重ね合わせることで、（旧）市区町村内に所在する生活インフラサービスが上記の条件を満たす（旧）市区町村を抽出した。

図表 2.1 地域・農業地域類型別の調査実施数

	東日本	西日本
都市的地域	1	1
平地農業地域	1	1
中間農業地域	2 ※うち1地区は非中心地区	2 ※うち1地区は非中心地区
山間農業地域	2 ※うち1地区は非中心地区	2 ※うち1地区は非中心地区

2.2.2. 調査対象地の決定

前述の方法によって候補地を選定した後、調査対象地を決定した。選定にあたっては、ルールを設定したうえで候補を絞り込んだ。設定したルールは以下の通り。

- 比較的店舗数の多い地域を対象
- 昨年度調査を実施していない都道府県から選定
- 本年度調査対象についても都道府県が重複しないように選定
- 東日本、西日本別に地域ブロック（農政局別）でバランスをとって選定

上記に基づき、以下の地域を調査対象地として抽出した。

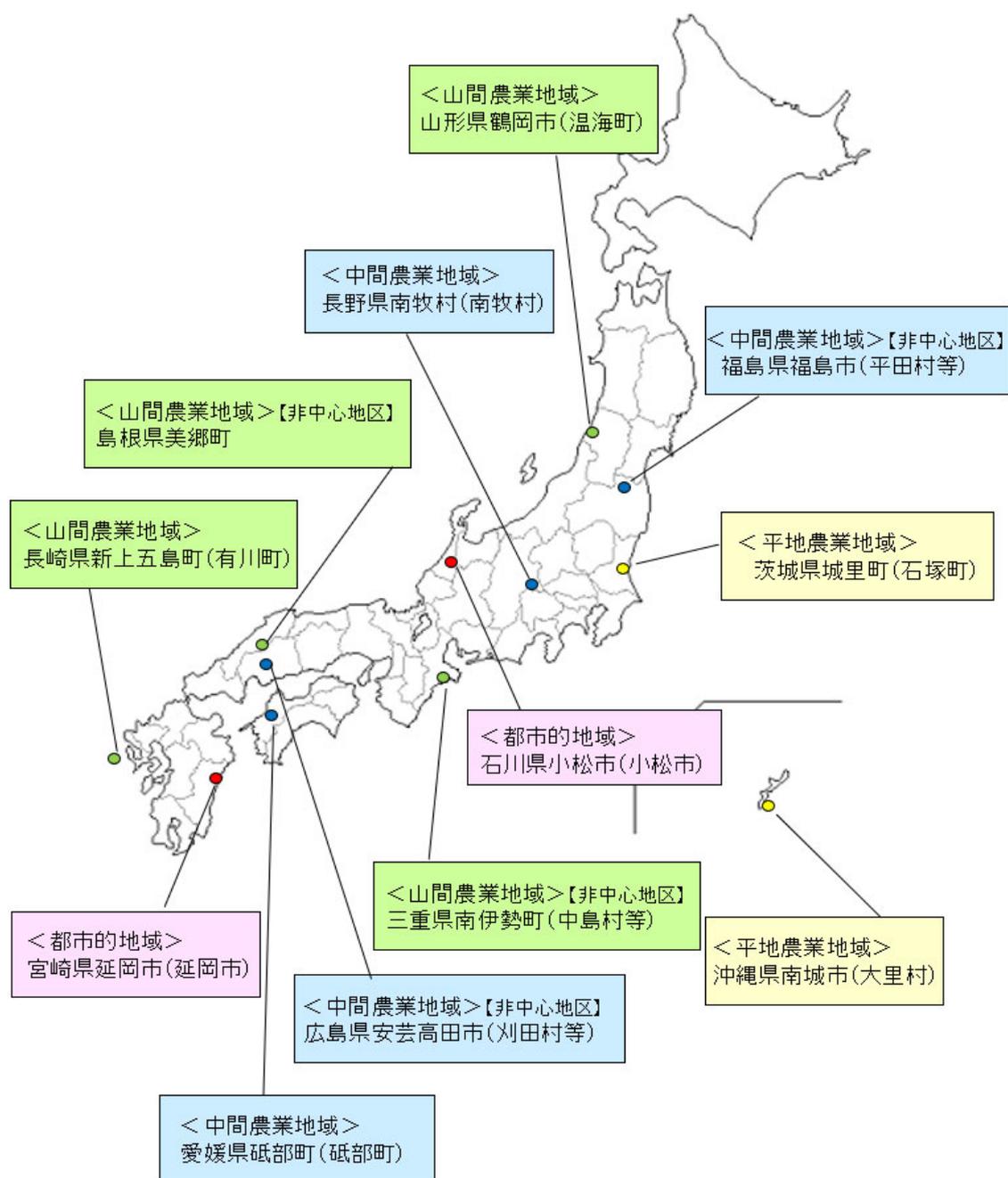
図表 2.2 調査対象地域(中心地区)の店舗数およびアクセス困難者率

					店舗数				アクセス困難者率		
類型	地域	都道府県	市区町村	旧市区町村	ガソリン	金融	食料日用品	合計	金融	食料日用品	SS
	西日本	宮崎県	延岡市	延岡市	2	6	3	11	5.4	5.8	0.5
平地	東日本	茨城県	城里町	石塚町	1	1	1	3	9.5	11.1	0.0
	西日本	沖縄県	南城市	大里村	2	1	1	4	4.4	3.4	0.0
中間	東日本	長野県	南牧村	南牧村	2	1	1	4	16.6	17.3	0.0
	西日本	愛媛県	砥部町	砥部町	1	1	2	4	6.8	6.3	0.0
山間	東日本	山形県	鶴岡市	温海町	1	1	1	3	8.5	4.6	0.1
	西日本	長崎県	新上五島町	有川町	1	1	1	3	20.9	15.6	3.3

図表 2.3 調査対象地域(非中心地区)の店舗数およびアクセス困難者率

類型	地域	都道府県	市区町村	旧市区町村	店舗数				アクセス困難者率		
					ガソリン	金融	食料日用品	合計	金融	食料日用品	SS
中間	東日本	福島県	福島市	平田村			1	1	2.6	2.0	0.0
				佐倉村		1		1	2.6	2.0	0.0
				水保村	1			1	2.6	2.0	0.0
				金谷川村	1			1	2.6	2.0	0.0
				湯野町	1	1	1	3	2.6	2.0	0.0
	西日本	広島県	安芸高田市	刈田村		1		1	14.3	14.0	0.0
				可愛村		3		3	14.3	14.0	0.0
				小田村		1	2	3	14.3	14.0	0.0
				来原村		1		1	14.3	14.0	0.0
				横田村	1			1	14.3	14.0	0.0
				船佐村2-1			1	1	14.3	14.0	0.0
山間	東日本	三重県	南伊勢町	中島村	1			1	18.9	14.9	0.0
				吉津村		1	1	2	18.9	14.9	0.0
	西日本	島根県	美郷町	布施村2-1	1			1	44.2	20.3	0.0
				粕淵町		1	1	2	44.2	20.3	0.0
				都賀村		1		1	44.2	20.3	0.0

図表 2.4 調査対象地域



3. アンケートの実施

3.1. 調査先と日程

各調査地域における調査対象店舗と、アンケート調査実施期間は以下に示す通りである。

図表 3.1 調査実施日・実施店舗

都道府県	市町村	旧村	調査実施方法	実施期間	店舗
山形県	鶴岡市	温海町	訪問調査	10月30日	渥美支所
			訪問調査	10月28日	新鮮館Aコープあつみ
			訪問調査	10月29日	JASS 福栄スタンド
福島県	福島市	佐倉村	訪問調査	9月23日	JA ふくしま未来 福島西支店
		湯野町	訪問調査	9月24日	ファミリーマートAコープ湯野店
		金谷川村	訪問調査	9月25日	松川給油所
茨城県	東茨城郡 城里町	石塚町	店舗回収	10月14-19日	JA 水戸 しろさと支店
			訪問調査	10月29日	常北 SS/JA 茨城エネルギー(株)
			郵送回収+ 訪問調査	10月中旬~ 3月11日(訪問)	Aコープ常北/(有)ジェイエイ水戸グループサービス
長野県	南牧村	南牧村	訪問調査	11月11日	南牧支所
			訪問調査	11月9日	ななちゃんのお店
			訪問調査	11月10日	八ヶ岳給油所
石川県	小松市	小松市	店舗回収	10月16-20日	JA 小松市 粟津支店
			店舗回収	10月19-23日	JA 小松市 みゆき給油所
			店舗回収	10月27日	Aコープ 粟津店/(株)ジャコム石川
三重県	南伊勢町	吉津村	郵送回収	10月~12月	JA 伊勢 南島支店
		中島村	郵送回収		南島 SS
		吉津村	郵送回収		Aコープ南島
島根県	美郷町	布施村 2-1	訪問調査	10月16日	Aコープおおち
		粕淵町	訪問調査	10月15日	大和支店
		都賀村	訪問調査	10月19-21日	J Aしまね 島根おおち地区本部
広島県	安芸高田市	来原村	訪問調査	10月20日	JA 広島北部 高宮支店
		横田村	訪問調査	10月19日	高田インター S S
		船佐村 2-1	訪問調査	10月21日	Aコープたかみや
愛媛県	伊予市	中山町	店舗回収	10月21-30日	JA えひめ中央 中山支所
			店舗回収	11月11-29日	JA えひめ中央 中山給油所
			店舗回収	10月23-28日	Aコープ なかやま店/Aコープ西日本
長崎県	新上五島町	有川町	郵送回収	10月~12月	JA ごとう 有川支店
			郵送回収		有川 SS
			郵送回収		Aコープ有川店
宮崎県	延岡市	延岡市	店舗回収	11月13日	JA のべおか 東海(とうみ)支店
			店舗回収	10月16-19日	JA のべおか 松山給油所
			店舗回収	11月19-25日	Aコープ一ヶ岡店
沖縄県	南城市	大里村	訪問調査	1月20日	アトール
			訪問調査	1月22日	JA おきなわ南城支店
			訪問調査	1月21日	大里セルフ

3.2. アンケート票の作成

アンケートの作成にあたっては、回答者へ過度の負担がかからないシンプルなものとし、以下の通り設定した。これは購買店舗を対象としたものであるが、JAバンク、ガソリン販売サービスについてもほぼ同様のアンケート票とした。

なお、郵送で回収を行った地域についても同様の調査票を用いたが、調査員が調査趣旨を説明できないことから、説明文を追加した調査票を使用した。

図表 3.2 使用した調査票

エーコープの利用に関するアンケート

■あなたの年齢と性別について該当する箇所を○でかこんでください。

年齢 (10代 20代 30代 40代 50代 60代 70代 80代以上)

性別 (男性 女性)

■この店までどのような方法でお越しになりましたか。

1. 車・バイクできた 2. 自転車できた
3. 歩いてきた 4. その他の方法できた

■この店までのだいたいの所要時間についてお答えください。

1. 5分以内 2. 5分～10分
3. 10分～15分 4. 15分～20分
5. 20分～30分 6. 30分以上

■JAへの加入の状況についてお答えください。

1. 正組合員である(家族に正組合員がいる)
2. 准組合員である(家族に准組合員がいる)
3. 組合員ではない 4. わからない

問1 この店を含め、エーコープをどれくらいの頻度で利用していますか(あるいは、今後利用する予定ですか)。

1. ほぼ毎日 2. 1週間に1回以上
3. 月に1～2回程度 4. 年に数回程度
5. ほぼ利用しない

問2 今後もエーコープを利用したいですか。

1. 利用したい }
2. どちらかといえば利用したい } ⇒ 問2-2にお答えください
3. 分からない(どちらともいえない) }
4. 積極的に利用する予定はない } ⇒ 問3におすすみください
5. 利用する予定はない }

裏面に続きます

※問2で1, 2. を選んだ方にお伺いします。
問2-2 今後も利用したい理由を教えてください。該当するもの全てに○をつけてください。

1. 品質が良いから 2. 価格が安いから
3. 接客態度や店舗の雰囲気が良いから 4. 店舗が近くて便利だから
5. JAに親しみ・親近感があるから 6. その他

問3 エーコープ以外にふだんから利用しているスーパーマーケットなどはありますか。

1. ある (⇒問3-1、問3-2へ) 2. ない (⇒問3-3へ)

問3-1 エーコープと他のスーパーマーケットなどの利用状況について以下より1つだけ選んでください。

1. ほとんどAコープを利用 (8～9割以上Aコープを利用)
2. どちらかといえばAコープを利用 (6～7割程度Aコープを利用)
3. どちらともいえない (半々程度)
4. どちらかといえば他のスーパーを利用 (6～7割程度他のスーパーを利用)
5. ほとんど他のスーパーを利用 (8～9割以上他のスーパーを利用)

問3-2 他のスーパーマーケットなどを利用する理由をお答えください。

1. 品質が良いから 2. 価格が安いから
3. 接客態度や店舗の雰囲気が良いから 4. 店舗が近くて便利だから
5. その店に親しみ・親近感があるから 6. その他

問3-3 利用できる他のスーパーマーケットはありますか。

1. ある 2. ない

アンケートはこれでおわりです。ご協力ありがとうございました。
最後に、JAについて要望やご意見があれば、自由に記入してください

3.3. アンケートの進め方

アンケートの実施にあたっては、訪問調査を行った地域では1地域3日間を調査期間とし、各地域1～3名の調査員を派遣して実施した。購買店舗とJAバンクでは、机を設置し、利用者が適宜座って回答できるようにすると併せて、調査員がボードを持って利用者に声をかけをし、新型コロナウイルス感染拡大防止に最大限配慮した上で、聞き取り形式で回答してもらう形も実施した。ガソリンスタンドでは、給油中の利用者に声をかけをして、調査員が聞き取り形式で収集した。また、回答者にはお礼としてエコバックを配布した。

郵送回収を行った地域では、各対象店舗に調査票と返信用封筒を設置した上で、回答に協力いただけるお客様に記入・投函してもらうことで回収を行った。

図表 3.3 調査の様子(JA 広島北部Aコープたかみや)



3.4. アンケート回収結果

令和元年度調査では全て農協施設の店頭においてアンケート調査を行ったが、本年度調査は新型コロナウイルスの影響があったことから調整が難航し、いくつかの地区では調査員が同行せず、郵送にて調査を行った。従って改修の状況に差が生じている。

類型	都道府県	市町村	購買店舗		JA バンク		ガソリンスタンド	
			回収数	有効回答	回収数	有効回答	回収数	有効回答
山間農業地域	山形県	鶴岡市	52	51	37	35	35	33
中間農業地域	福島県	福島市	50	50	50	48	50	48
平地農業地域	茨城県	東茨城郡 城里町	55	54	55	43	60	50
中間農業地域	長野県	南牧村	50	24	34	23	50	50
都市的地域	石川県	小松市	64	39	65	49	62	55
山間農業地域	三重県	南伊勢町	54	49	43	40	26	21
山間農業地域	島根県	美郷町	50	49	36	36	11	11
中間農業地域	広島県	安芸高田市	50	50	50	48	50	46
中間農業地域	愛媛県	伊予市	55	42	56	44	50	46
山間農業地域	長崎県	新上五島町	64	59	54	52	389	313
都市的地域	宮崎県	延岡市	51	37	64	55	50	48
平地農業地域	沖縄県	南城市	52	49	50	50	54	49